



COOPDECH

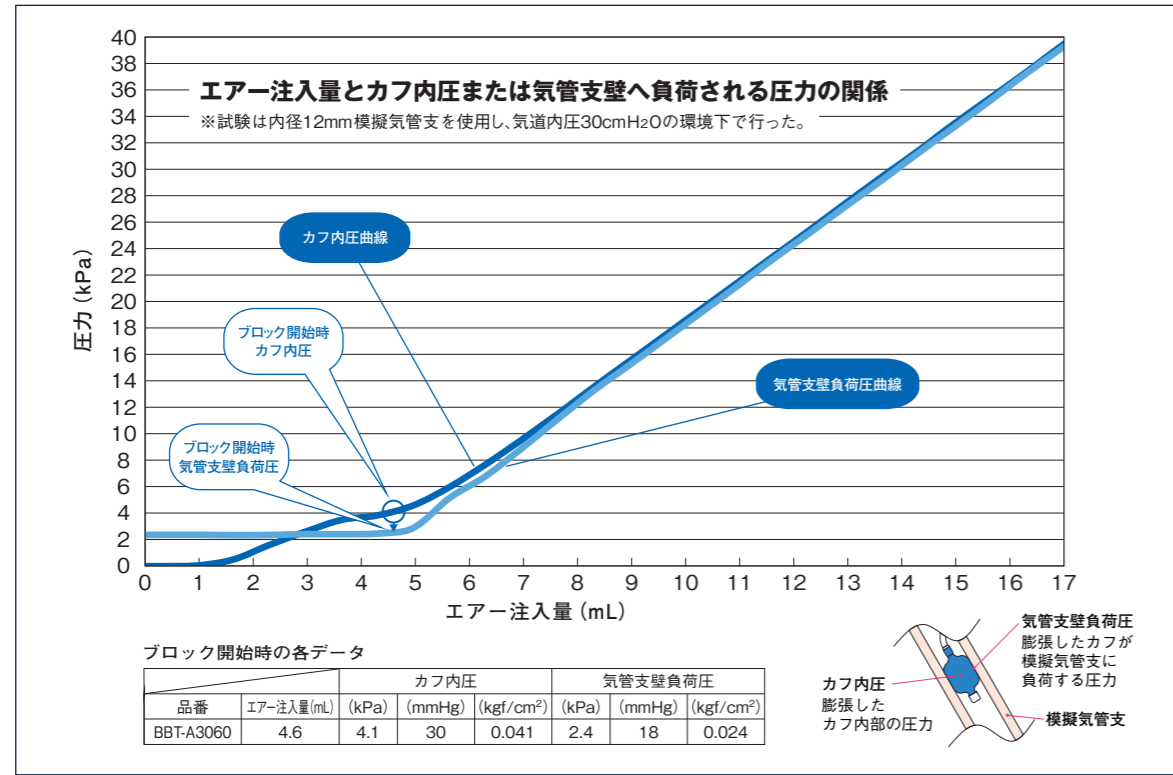
クーデック®気管支ブロッカーチューブ

クーデック®気管支ブロッカーチューブ●仕様

タイプ	品番	気管支ブロッカーチューブ	オートインフレーター	ジョイントコネクタ	カフ形状	入数
タイプA	BBT-A3060	外径3.0mm/長さ600mm	—	クランプ仕様	俵型形状	1セット
タイプB	BBT-B3060	外径3.0mm/長さ600mm	○	クランプ仕様	俵型形状	1セット
タイプA	BBT-A3060R	外径3.0mm/長さ600mm	—	リング仕様	俵型形状	1セット
タイプB	BBT-B3060R	外径3.0mm/長さ600mm	○	リング仕様	俵型形状	1セット

1セット/箱 滅菌済

●記載の希望小売価格には、消費税は含まれておりません。 ●仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。あらかじめご了承ください。



クーデック®気管支ブロッカーチューブ
医療機器認証番号：21400BZZ00128000 機械器具51 医療用口腔及び体液誘導管
管理医療機器 換気用気管支閉塞カテーテル (JMDNコード：70258000)

【禁忌・禁止】

- 再使用禁止。
- 再滅菌禁止。
- 本品とコネクタ内側に内筒がある機器（ジャクソンリース回路など）とは接続しないこと [回路を閉塞させる危険性がある]。

使用目的又は効果
本品は、医家向けの呼吸器用チューブで、滅菌済みディスposable製品である。肺癌、縦隔腫瘍、食道癌、胸部大動脈瘤等の開胸を必要とする手術の際に、気管内に経口、経鼻又は気管切開挿管される「気管内チューブ」又は「気管切開チューブ」と接続し分離肺換気を行う。

使用上の注意

- リザーバカフに傷が生じるおそれがあるため、鉗子等で挟まないこと。
- ジョイントコネクタの気管内チューブコネクタは気管内チューブと、ベンチレーションポートは麻酔回路等と、確実に接続されていることを確認すること。
- ジョイントコネクタに無理な力を加えないこと。特に気管支ファイバースコープの操作時には注意すること [ジョイントコネクタが破損するおそれがある]。
- ブロッカーチューブを挿管する時は、気管及び気管支損傷等に十分注意し、必ず気管支ファイバースコープ観察下に行うこと。
- 抵抗を感じた場合は、ブロッカーチューブを進めないこと。
- 本品の近くでは、レーザー機器や電気手術器を使用しないこと。
- 気管支をブロックしている際に、換気が急に困難になった場合はリザーバカフを直ちに収縮させ、患者の状態を確認し適切に処置を行うこと。
- 右主気管支をブロックする場合、右上葉を閉塞することがあるので注意すること。
- リザーバカフを収縮状態にしても、気管内チューブ内に留置すると気道抵抗の原因となるので注意すること。
- ジョイントコネクタからブロッカーチューブのみを引き抜かないこと [リザーバカフ周辺部が破損し脱落するおそれがある]。
- 先端保護チューブやリザーバカフが破損、脱落するおそれがあるので、無理な力を加えないこと。
- 閉塞側の肺の換気を行う際には、リザーバカフの脱気を十分に行うこと。
- オゾンが発生する雰囲気中で本品を使用しないこと。
- 気管内チューブ内に気管支鏡等を挿入することにより、チューブの内腔が狭くなることがあるので注意すること。
- カフへの空気以外の注入禁止。

詳細は添付文書をご参照ください。禁忌・禁止を含む使用上の注意の改訂に十分ご留意ください。

COOPDECH、クーデック、 は大研医器株式会社の登録商標です。

製造販売業者

大研医器株式会社
〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野2-6-2

本社 〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野2-6-2 TEL 0725-30-3150
 (製品に関するお問い合わせは、下記営業窓口にご連絡ください)
 札幌支店 〒001-0010 札幌市北区北十条西4-1-19 楠本第10ビル7F TEL 011-708-3060
 仙台支店 〒980-0011 仙台市青葉区上杉2-3-7 K2小田急ビル6F TEL 022-214-4561
 さいたま支店 〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-11-1 YK-10ビル7F TEL 048-650-9925
 東京支店 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル7F TEL 03-5835-5011
 横浜支店 〒220-0004 横浜西区北幸2-9-40 銀洋ビル5F TEL 045-872-0700
 名古屋支店 〒460-0003 名古屋市中区錦1-19-24 名古屋第一ビル7F TEL 052-559-1286
 金沢営業所 〒920-8203 金沢市鞍月5-181 AUBE 4F TEL 076-238-9950
 大阪支店 〒540-0036 大阪中央区船越町1-6-6 ODC天満橋ビル7F TEL 06-6943-1161
 広島支店 〒732-0827 広島市南区福荷町5-18 三共福荷町ビル2F TEL 082-568-2377
 福岡支店 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-10-15 博多駅東アトルビル5F TEL 092-481-1751
 COOPDECHの製品情報はホームページでご覧いただけます → <http://www.daiken-iki.co.jp/>

代理店



この印刷物は、環境にやさしい「大豆油インキ」を使用しています。

2024.10

カタログ記載内容2024年10月現在 (2410B)

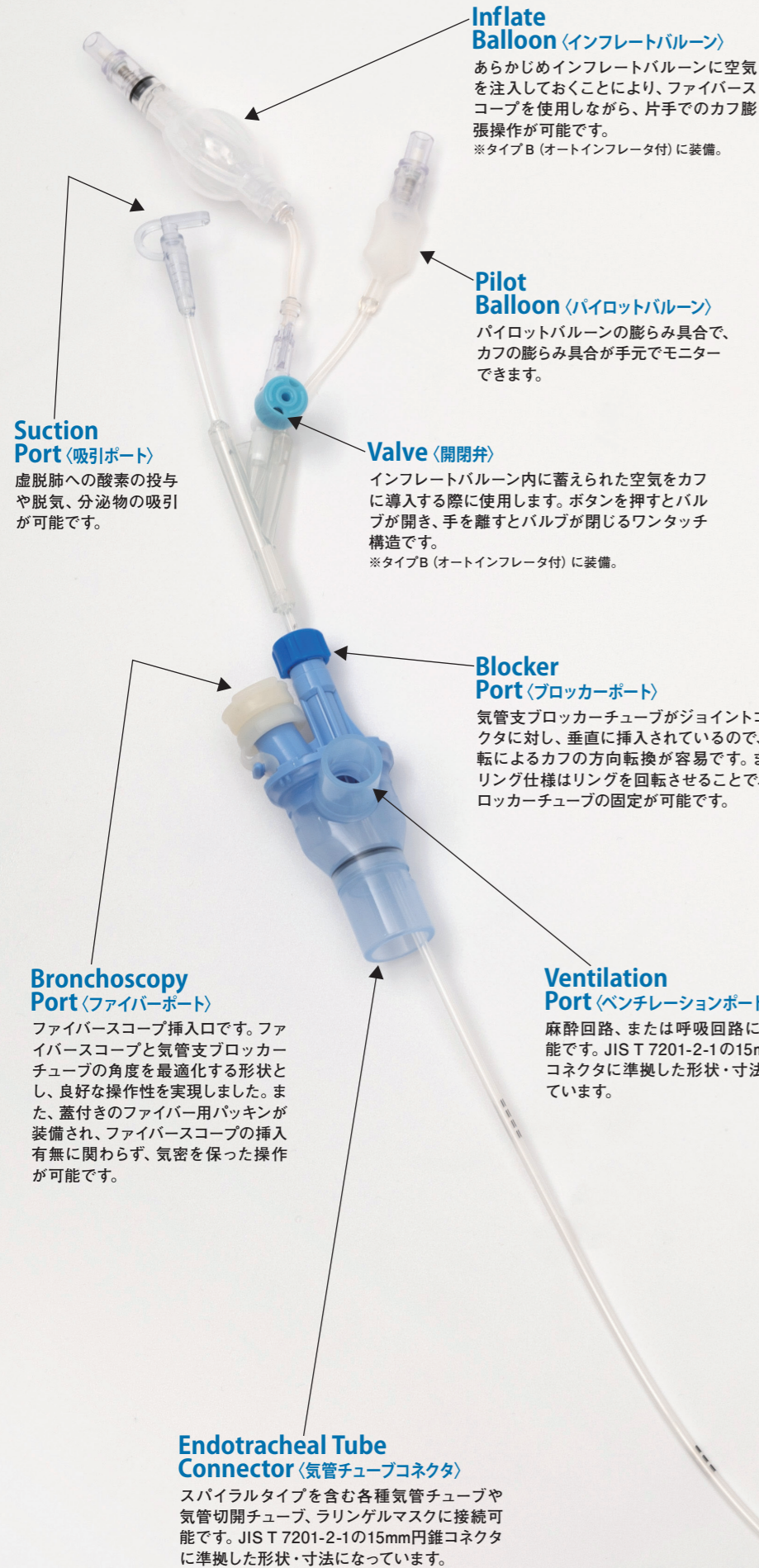


- クーデック気管支ブロッカーチューブは分離肺換気を目的とし、気道確保のために挿管された各種チューブと組み合わせて使用します。
- 分離肺換気終了後、引き続き気管内挿管による人工呼吸が必要な時も、気管支ブロッカーチューブを抜管するだけです。気管内チューブを交換する必要はありません。
- 独自のオートインフレーターは、片手操作でカフの膨張が行えます。気管支ファイバースコープとの同時操作が可能です。
- ジョイントコネクタは、麻酔回路を取り外すことなく気管支ブロッカーチューブおよび気管支ファイバースコープを操作できます。
- シングルルーメンチューブと組み合わせて使用するため、各種サイズをストックする必要がありません。
- スパイラルタイプを含む各種気管チューブや気管切開チューブ、ラリンゲルマスクに接続可能です。

管理医療機器

一般的名称：換気用気管支閉塞カテーテル
医療機器認証番号：21400BZZ00128000
販売名：クーデック気管支ブロッカーチューブ

大研医器株式会社



Inflate Balloon (インフレートバルーン)
 あらかじめインフレートバルーンに空気を注入しておくことにより、ファイバースコープを使用しながら、片手でのカフ膨張操作が可能です。
 ※タイプB (オートインフレーター付) に装備。

Pilot Balloon (パイロットバルーン)
 パイロットバルーンの膨らみ具合で、カフの膨らみ具合が手元でモニターできます。

Suction Port (吸引ポート)
 虚脱肺への酸素の投与や脱気、分泌物の吸引が可能です。

Valve (開閉弁)
 インフレートバルーン内に蓄えられた空気をカフに導入する際に使用します。ボタンを押すとバルブが開き、手を離すとバルブが閉じるワンタッチ構造です。
 ※タイプB (オートインフレーター付) に装備。

Blocker Port (ブロッカーポート)
 気管支ブロッカーチューブがジョイントコネクタに対し、垂直に挿入されているので、回転によるカフの方向転換が容易です。また、リング仕様はリングを回転させることで、ブロッカーチューブの固定が可能です。

Bronchoscopy Port (ファイバーポート)
 ファイバースコープ挿入口です。ファイバースコープと気管支ブロッカーチューブの角度を最適化する形状とし、良好な操作性を実現しました。また、蓋付きのファイバー用パッキングが装備され、ファイバースコープの挿入有無に関わらず、気密を保った操作が可能です。

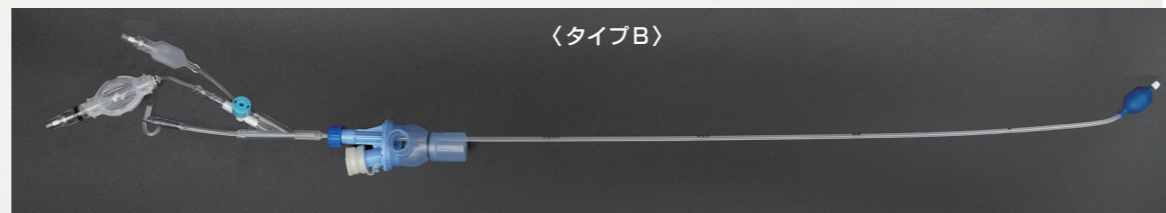
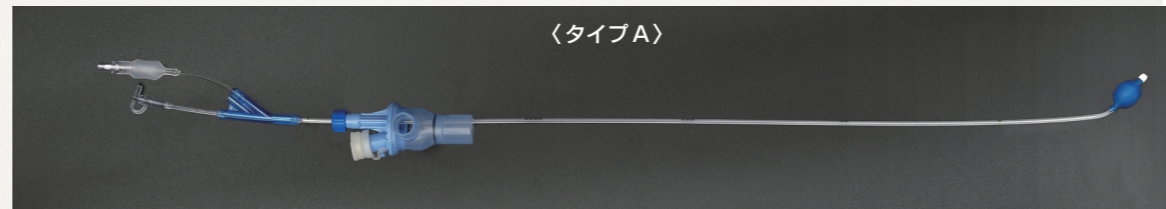
Ventilation Port (ベンチレーションポート)
 麻酔回路、または呼吸回路に接続可能です。JIS T 7201-2-1の15mm円錐コネクタに準拠した形状・寸法になっています。

Endotracheal Tube Connector (気管チューブコネクタ)
 スパイラルタイプを含む各種気管チューブや気管切開チューブ、ラリンゲルマスクに接続可能です。JIS T 7201-2-1の15mm円錐コネクタに準拠した形状・寸法になっています。

気管支組織へのダメージを軽減する低圧カフの採用、 抜管後の気管チューブ再挿管が不要、 さらに操作性を向上させ進化し続ける クーデック気管支ブロッカーチューブ。

Endobronchial Blocker Tube 気管支ブロッカーチューブ

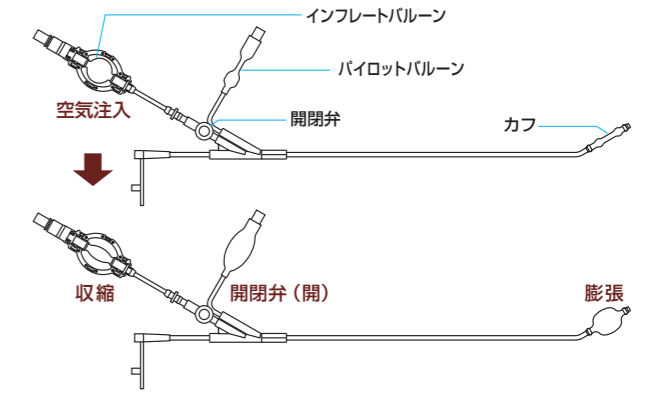
気管支ブロッカーチューブは、分離肺換気を目的とし、気道確保のために挿管された各種チューブと組み合わせて使用します。目的の気管支に誘導しやすいよう、先端部に角度をつけました。吸引ポートからは虚脱肺への酸素の投与や脱気、分泌物の吸引が可能です。



Cuff (カフ)
 青色にすることで視認性を高めたカフです。イソプレンゴム製のソフトな材質により、低圧で確実なブロックが可能となり、気管支粘膜に対する低侵襲性を実現しました。

Auto Inflater オートインフレーター

オートインフレーター (タイプB) は、あらかじめインフレートバルーンに空気を充填しておくことで、片手操作が可能になりました。ワンボタンでカフを膨張させることができるため、気管支ファイバーを操作しながら介助者なしに操作ができます。また、シリンジで直接空気を注入しないため、高圧や過剰注入による気管支組織へのダメージが最小限に抑えられます。



Joint Connector ジョイントコネクタ

ジョイントコネクタは、気管支ブロッカーチューブを各種気管内チューブや麻酔回路に接続して組み合わせます。また、ファイバーポートもありますので、麻酔回路を取り外すことなく気管支ファイバースコープを使用できます。気管支ブロッカーチューブの固定方法の違いによりリング仕様とクランプ仕様2タイプがあります。



〈リング仕様〉

〈クランプ仕様〉

Cuff カフ

ソフトなイソプレンゴム製カフを採用しました。低圧でブロックできますので、気管支粘膜に対し低侵襲です。またカフの視認性を高めるため、青色にしました。

